

平成29年1月31日開催 小平市地域公共交通会議

1 日 時

平成29年1月31日（火）13時00分から14時10分まで

2 場 所

小平市役所5階 505会議室

3 出席者

小平市地域公共交通会議委員 13人
事務局（都市開発部 公共交通課） 3人
（傍聴者 1人）

4 会議次第

- 1 開会
- 2 小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について
- 3 小平市コミュニティタクシー鈴木町ルートの停留所移設について
- 4 小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会について
- 5 「バスとタクシーのひろば in 小平 2016」の開催について
- 6 「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」の開催について
- 7 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- 8 その他
- 9 閉会

5 配布資料

- ・小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について（資料1）
- ・小平市コミュニティタクシー鈴木町ルートの停留所移設について（資料2）
- ・小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会について（資料3）
- ・「バスとタクシーのひろば in 小平 2016」実施報告（資料4）
- ・「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」の開催について（資料5）
- ・平成27年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について（資料6）

6 会議内容

都市開発部長の挨拶、出席委員及び資料の確認、傍聴者への対応

会長

それでは、平成28年度第1回小平市地域公共交通会議を始めます。
報告事項といたしまして、「小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、次第の2「小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について」をご報告いたします。

資料1をご覧ください。全部で5枚の資料です。

先ず資料についてご説明いたします。

1枚目の両面と2枚目の表までは、コミュニティバス、にじバスの乗車実績です。平成15年度から、平成28年度の12月までの月ごとと、年度ごとの乗車人数と1日平均乗車人数を表したものです。

2枚目の裏面から4枚目までは、コミュニティタクシーの乗車実績を同様に各ルートで表した

ものです。

5枚目は、にじバスとコミュニティタクシーの年度ごとの乗車状況をグラフにして推移を表したものです。

それでは、利用状況についてご説明いたします。5枚目のグラフをご覧ください。

まずコミュニティバスのにじバスです。左上のグラフは、単純に年度ごとの乗車人数の推移です。左下のグラフは、年度ごとの1日平均乗車人数の推移です。どちらも同じような傾向を示しておりますが、乗車人数は各年度の運行日数が多少違ひまして、こちらに左右されることもありますので、一番下の1日平均の方でご説明いたします。

平成19年5月に運賃が100円から150円に改定となり、乗車人数が減少しておりますが、それ以降はおおむね600人後半の方で安定しているといえます。

今年度ですけれどもグラフには表れておりませんが、2枚目で見ていただきますと、12月までの9カ月間では1日平均が672.2人と近年と比較して若干増えており、安定した乗車となっております。

今年度の乗車状況ですが、4月から12月末までの乗車の一番少ない日が、5月1日（日）晴れの日が390人、乗車の一番多かった日は7月21日（木）雨天でしたけれども1,050人でした。傾向としては、日曜日は乗車が少なく400人台にとどまることが多いです。雨天時は乗車が多く900人台という日が多くなっております。

次に、コミュニティタクシーです。右側のグラフをご覧ください。各ルートの状況を3本の線でそれぞれ推移を表しております。こちら下側の1日平均乗車人数のグラフをご覧ください。

どのルートもほぼ、右肩上がりです。乗車人数が伸びております。一番多いところが一番上の線になりますけれども、こちらが栄町ルートです。コミュニティタクシーは1日平均乗車人数70人以上を目標にしておりますが、栄町ルートは23年度の運行当初からこれを上回り、27年度は100人を超えております。今年度も12月までですけれども104.4人で更に伸びている状況です。

次に、上から二番目のグラフは大沼ルートです。こちらは、ルートと時刻表を変更した26年度から目標の1日平均70人を達成しております。今年度も今のところ12月までですけれども、94.8人とこちらもさらに伸びている状況です。

三番目、一番下の線ですけれども、こちらが26年度末から運行を開始した鈴木町ルートです。27年度は、66.8人と目標まではとどいておりませんでした。1年間運行した最初の年としては、利用が多かったと言えます。今年度は、今のところ、77.1人と目標を達成しており順調に地域の利用者が増えているといえる状況です。

コミュニティタクシー3ルートの今年度の傾向ですけれども、全てのルートで1日に100人以上の方が乗車した日数が増えております。一番少なかった鈴木町ルートにおいても、月に3日、4日程度、100人以上乗ったということになります。こういったことがコミュニティタクシー全てのルートで乗車伸びている原因になっていると思われま。

コミュニティバス、コミュニティタクシー全体としては、堅調に利用されている状況と言えます。

説明は以上になります。

会長

ただ今の説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

ないようでしたら、続きまして報告事項「小平市コミュニティタクシー鈴木町ルートの停留所移設について」事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは「小平市コミュニティタクシー鈴木町ルートの停留所移設について」説明いたします。申し訳ございませんが、資料が差し替えとなりますので、本日お手元に置いてあります資料2の方をご覧ください。

小平市コミュニティタクシー鈴木町ルートは、平成27年3月23日から運行を開始しており、地域協働の組織であるコミュニティタクシーを考える会を中心に運行について検討をしております。先程利用状況で報告しましたとおり、鈴木町ルートでは、乗車実績が伸びてきております。

現在、鈴木町ルートの停留所No.3「小平鈴木二郵便局北」停留所は、道路幅員 5.04 メートルの箇所、実証実験の際に使用していた停留所を置いて運行しております。

鈴木町ルート運行開始前から、現在の停留所の東側でマンション建設を行っており、そのマンションができるとマンション前の道路幅員が 6 メートル、そこに隣接して 2 メートルの歩道状空地ができることから、こちらの場所に停留所を移設することをコミュニティタクシーを考える会で検討しておりました。マンション前に停留所を移設することにより、コミュニティタクシー利用者の安全な乗降場所が確保できるため、停留所の移設を考えております。

新しい停留所の場所は、現在の位置より東に 50 メートル程行った所になります。この場所につきましては、マンション建設会社、施工会社にも了解を得ており、マンション販売の際にも、話をしていただいております。

新停留所での開始時期は、4 月を予定しております。

説明は以上です。

会長

それでは、ただ今の説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

では、何もありませんので、続きまして報告事項「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会について」事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会について」説明いたします。資料 3 をご覧ください。

小平市では、鉄道や路線バスなどの基幹交通を補う地域内のコンパクトな生活交通として、コミュニティタクシーを地域住民や交通事業者と協働して検討しております。

現在、コミュニティタクシーは、市の北東部地域において、小平駅北口から公立昭和病院までを結ぶ「大沼ルート」と、市の北西部地域において、小川駅西口から栄町地域までを結ぶ「栄町ルート」と、市の南東部地域において、花小金井駅南口から鈴木町地域までを結ぶ「鈴木町ルート」の 3 ルートを運行しております。

昨年 2 月の小平市地域公共交通会議の際に、市の南西部地域におきましても、自治会への説明会等を実施し、他の地域と同様、地域の自治会を中心に、商店会、事業者、タクシー事業者、学校、商工会からなる検討組織の立ち上げに向け、積極的に働きかけていく旨、説明いたしました。

そして、昨年 5 月に市では、「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」を組織化し、支援していくことといたしました。

小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会の参加団体は、資料 3 の 2 のとおり、自治会 9 団体、商店会 1 団体、活動団体 1 団体、地域内の企業 2 団体、教育機関 1 団体、交通事業者 2 団体、東京むさし農業協同組合、小平商工会の合計 18 団体で構成されております。

小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会は、平成 28 年 5 月 30 日に 1 回目の会議を開催いたしました。この会議では、小平市のコミュニティタクシー運行事業、今後の進め方について共通理解を図りました。

その後月 1 回のペースで考える会を開催し、第 2 回ではコミュニティタクシー運行事業に関する法律等の制約についての説明や乗車ニーズの調査を行いました。第 3 回では現在運行しているルートでは一番新しい地域である、鈴木町ルートの検討をしていただきました、「小平南東部地域コミュニティタクシーを考える会」のメンバーとの意見交換会を行いました。また、その際、南西部地域で地域の方々へ生活交通に関するアンケートを実施したいというご意見をいただき、第 4 回、第 5 回では、そのアンケートの実施について検討を行いました。第 6 回では、アンケート集計結果を確認し、地域の現状や今後の考える会の進め方について話し合いました。第 7 回ではグループに分かれて、既に運行している大沼ルート・栄町ルート・鈴木町ルートの視察を行いました。第 8 回、第 9 回ではこの地域の公共交通の現状についてワークショップを行い、この地域の交通の課題を共有いたしました。次回以降は、これまでの検討内容をもとに、運行ルートや運行システムについての検討を行っていきます。

それでは、具体的な検討内容について説明いたします。

まず、第2回ではコミュニティタクシー運行事業に関する法律等の制約についてということで、運行を実現するための代表的な事について、共通理解を図りました。1として、コミュニティタクシーの運行を理解していただける事業者の存在が必要であるということ、2として、既存のバス事業者、タクシー事業者の了解が必要であるということ、3として、乗車目標に近づくような一定人数以上の利用者の確保が必要であるということ、4として、車両制限令に適合する道路を運行する必要があるということ、5として、停留所設置場所や運行ルート of 安全確保について警察の審査を通る必要があるということ、6として、運行や停留所の設置には周辺住民の理解が必要であるということ、このことについて、まずは共通理解を図りました。

次に、この地域で実施したアンケートについて説明をいたします。市では、平成23年にコミュニティタクシー未実施地域の65歳以上の方を対象に生活交通に関するアンケートを実施していましたが、それからすでに5年がたっており、市の南西部地域の現状が変わっているため、再度アンケートを実施したいという提案があり実施いたしました。

アンケートでは、日常、どの方面へ出掛ける機会があるのかを調査しました。買い物、主に食料品や日用品についてどこに買い物に行っているのか。また、その頻度はどのくらいか。通院はどちらに行かれていますか。また、その頻度はどのくらいかを聞きました。買い物、通院以外で週に1回程度出掛ける場所があれば、どこかも聞きました。また、「コミュニティタクシー」を最も多く利用するのは、どのような目的で外出する時だと思いかについても聞きました。

このアンケートは、考える会のメンバーの自治会や病院、郵便局等で行った以外に、南西部地域で行った市のイベントの「環境フェスティバル」、「えんとつフェスティバル」でも行いました。また、この地域にある市の公民館、地域センターでもアンケートを実施いたしました。その結果、935件の回答をいただきました。

このアンケートの集計結果を使い、第6回、第8回、第9回ではワークショップを行いました。考える会のメンバーに3つのグループに分かれていただき、公共交通マップを利用し、バス停から半径200メートルの円、鉄道駅から500メートルの円を描きました。そして、この地域の人の流れを矢印で図示しました。グループごとに行ったものを、6の写真に二つ載せております。その後、各グループごとにこの地域の交通の不便なところ、よく利用されているところ、地図やアンケートでは現れてこない、この地域の交通に関する課題などについて話し合い、発表いたしました。現在の考える会では、ここまでをやっております。

今後のスケジュールですが、2月16日に第10回目の考える会を開催予定です。本日この会議でいただきましたご意見等を踏まえ、この後、5~6回程度、具体的な運行ルート、運行システム等について検討を行い、その後、地域公共交通会議で協議をしていただくようになります。「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会について」は、以上でございます。

会長

ただ今の説明について、何かご意見、ご質問、ご感想はございますか。

委員

アンケートをされたということですが、アンケートの結果はおおむねどういったものだったのでしょうか。また、それをふまえてどんな議論をされているのか、一部でも良いので教えていただけないでしょうか。

事務局

公共交通マップでも見ていただけるとわかると思うのですが、この南西部地域というのが、青梅街道と西武多摩湖線とで区切られた地域になるのですが、かなり広い場所になります。西の端は中島町、東の端は上水本町となり、かなり広い地域になっております。アンケート集計結果として、買い物についてお伺いしたところだと、上水本町の方は国分寺にバスが走っていますので、国分寺方向に行かれる方が多い。中島町や上水新町の方は、立川の方に行かれる方が多いというのがわかりました。病院につきましては、上水本町には病院が1件もないので、かなり色々な地域に行かれていますことがわかりました。国分寺に行かれる方が多いのと市の中心部の方の病院に行かれる方が多いというのがわかりました。地域センターや公民館がかなり点在しておりますので、どこに集中するというのがあまり出てはこなかったのですが、この地域で言う中央が鷹

の台駅近辺になりますので、この近くにある公民館等を使うというのが若干多かったのですが、ご自身の地域の所を使われているという方もおりました。地域ごとの地域センターや公民館のどこかに集中するというのはあまり出てきませんでした。今、考える会の皆様から出ている意見としましては、駅とバス停の円を描いたところ、少し空白になるというのが、上水本町の真ん中辺りと鷹の台駅から少し西の方に五中通りというのがあるのですが、その辺りが空いているという意見がでておりました。上水新町二丁目も少し空いているというのがわかりました。考える会の皆様は、これらの箇所をこの地域での空白と考えておまして、この空いている箇所を中心にルートを検討していくような感じで、次回の考える会では、皆様にルートの案かあるいはどこへ行きたいかというのを提案していただくことになっています。

会長

他に何かございますか。

ないようでしたら、報告事項5『「バスとタクシーのひろば in 小平 2016」の開催について』事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、『「バスとタクシーのひろば in 小平 2016」の開催について』ご説明いたします。

開催からかなりの月日がたつての報告となり、申し訳ございませんが、平成28年5月21日に小平市の小川駅東口にありますブリヂストン TODAY 駐車場で開催されました「バスとタクシーのひろば in 小平 2016」についてご報告いたします。

それでは、資料4をご覧ください。このイベントは、バスやタクシーなどの公共交通をPRするイベントとして平成26年から始まり、今回で3回目の開催となりました。本日、ご出席の事業者の皆様をはじめ、鈴木会長にも企画、準備、当日までご協力いただきました。誠にありがとうございました。

バスとタクシーが一齐に集まるイベントというのは、全国でもまだ少ないかと思えます。

当日は、天候にも恵まれ、家族連れを中心に約3,000名の方々にご来場いただきました。会場のイベントの様子は、資料2枚目以降の写真をご覧ください。各バス会社、タクシー会社のご協力のもと、バス7台、タクシー6台を展示いたしました。また、市の環境政策課所有の電気自動車も1台展示いたしました。お子様たちは、バス会社さんで用意いただいた制服を着て、写真を撮られたり、運転席に座られたりと楽しまれておりました。また、タクシーの運転席に座り、タクシーメーターに触れたりと普段できないような体験もしていただきました。鈴木会長にお願いし、バスの乗り方教室も実施いたしました。「キャラクターと遊ぼう」では、西武バスさん、関東バスさんのご協力のもと、当日の暑い中3回ほど、西武バスさんのキャラクターのエンジェと関東バスさんのキャラクターのかんにゃん。に出てきていただき、お子様たちと写真撮影など交流をしていただきました。今回の新たなイベントとしては、「バスとつな引き」、「鉄道模型ジオラマ展示・体験運転会」を実施しました。「バスとつな引き」では、小学生以下のお子様を対象に、1回30人の参加を2回行いました。綱を掛けた西武バスさんの車両を子どもたちが力を合わせて引っ張ると、バスがゆっくり動き出し、大きな歓声が湧き上がりました。つな引き実施後に来られたお子様からは、参加したかったという声が、つな引きに参加されたお子様からは、楽しかったという声をいただきました。「鉄道模型ジオラマ展示・体験運転会」では、展示車両の電気自動車からの電気を使用し、ジオラマを見るだけでなく、お子様たちにも運転を体験していただきました。

また、今回は会場入口に熊本地震災害義援金の募金箱を設け、皆様からのご協力により3,750円の募金が集まりました。こちらの募金は、後日、小平市社会福祉協議会にお持ちしました。

また、昨年は「プレゼント付きクイズ」にアンケートをつけたのですが、今回はクイズをなくし「プレゼント付きアンケート」により、ご来場者の方々からのご意見、ご感想を集めました。この「プレゼント付きアンケート」の実施にあたりましては、事業者の皆様からプレゼント用のグッズを多数ご提供いただきました。ありがとうございました。プレゼント付きということもあり、多くのご意見が集まりました。配布に対する回収率としても、71%となりました。

アンケートの結果は、資料4の3枚目以降の集計結果をご覧ください。1番目の質問では、満足度に回答して頂きましたが、大変満足43.4%と満足46.7%と合わせて90%の方が、このイベ

ントに対して満足されていたことが分かります。2番目には今回の来場は何回目かを伺ったのですが、初めての方が64%と半数以上でした。今回のイベント内容で良かったものをお答えくださいと複数回等でお答えいただいた結果では、バス車両の展示が82.6%と圧倒的に多く、その次のタクシーの展示が31.2%で、やはり、バス、タクシーの展示が人気でした。初めて実施したジオラマ展示も28.3%と人気がありました。その他の回答としては、会場のブリヂストンTODAYが博物館になっているのですが、その展示が良かったという意見もありました。4番目の質問では、年齢について回答して頂きましたが、小学生以下が32.4%、30歳代から40歳代が48.5%と多くなっており、この数字から見ても、お子様連れのご家族が多かったことがわかるかと思えます。お子様が多いのには、このイベントのPRチラシを市内の幼稚園、保育園、小学校の生徒全員に1枚づつ手元に届くように配っている効果がでているかと思えます。5番目には、どこに住んでいるかを伺ったのですが、市内の方が66.2%ということで、チラシを市内中心に配布した効果が出ているかと思えます。

イベントとは関係なくなってしまうのですが、6番に路線バスを利用する時の目的は何ですかという質問をしました。その結果、買い物か48.6%と一番多く、次が通勤の22.3%でした。こちらの質問を聞いた理由ですが、南西部地域のコミュニティタクシーの検討が始まるということもあり、皆様にバスを使う目的を聞きたいということがあり、お伺いしました。7番目には、小平市のにじバス、ぶるべ一号を利用したことがありますかという質問をしました。残念ながら、両方利用なしというのが一番多かったのですが、両方利用ありという方もいらしたので、これからもにじバス、ぶるべ一号につきましては、引き続きPRを行っていききたいと思います。

4ページ目では、1番目の質問で満足度をお伺いした方に記述式でご意見を記入していただいておりますので、いくつかご紹介したいと思います。

大変満足や満足とお答えいただいた方からは、

- ・子どもがとても喜んでいました。
- ・バス、タクシーの運転席に座れて良かった。
- ・毎回楽しみにしている。
- ・いろいろなバスが見られて良かった。
- ・いろいろなバスグッズの販売が良かった。
- ・昔のバス、車が良かった。懐かしかった。
- ・バスが好き

というようなご意見を数多くいただきました。

一方、普通、不満とお答えいただいた方からは、

- ・入場時の流れが悪い。
- ・入口の場所、イベントの各場所がわかりにくい。
- ・会場が狭い。

というようなご意見をいただきました。

また、全体的なご意見、ご感想も記述式で記入していただいておりますので、いくつかご紹介しますと、

- ・来年も開催して欲しい、次回も楽しみ。
- ・とても楽しかった。
- ・飲食の販売もあつたら嬉しい。
- ・暑い中お疲れ様でした。とても楽しめました。
- ・来年も来ます。
- ・白バイ、パトカーの展示は人気があつたのでまたお願いしたい。
- ・降車ボタン展示がなかったのが残念。
- ・企画等苦勞もあるかと思えますが、バス、タクシーを間近に見る機会は少ないので、今後も期待する。

などのご意見をいただきました。

白バイの展示につきましては、こちらから要望はしたのですが、サミットの関係で今回は参加いただけませんでした。また、降車ボタンの展示につきましては、お願いしていた方が当日体調不良になり、実施できませんでした。

こちらのイベントにつきましては、各事業者の皆様と、コミュニティタクシーを考える会に参加されている市民の方々のご協力により、多くの方々にお楽しみいただき、公共交通を十分にPRすることができ、目的は果たせたものと感謝しております。誠にありがとうございました。報告は以上になります。

会長

次の6番ですが、関連になりますので、続いて説明をお願いいたします。

事務局

それでは、引き続き『「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」の開催について』資料5をご覧ください。

先程、今年度の「バスとタクシーのひろば in 小平 2016」のご報告をいたしました。ご来場の皆さまからの開催を継続するご意見もとても多いことから、来年度も引き続き、皆様からのご協力をいただきまして、「バスとタクシーのひろば in 小平 2017」を開催したいと考えております。開催時期につきましては、各バス会社、タクシー会社に5月、6月でお伺いしており、資料では5月または6月の1日としておりますが、今のところ、皆様からのご回答いただいた中では、5月13日を第一候補に考えております。本日、この会議でご協議いただき、開催が決まりましたら、会場候補地でありますブリヂストン株式会社へ日程の調整にお伺いしたいと考えております。実際にブリヂストンTODAYの駐車場が空いていなければできないことですので、今のところ、5月13日を第一候補としておりますが、変わる可能性もありますので、決まりましたら、またご報告したいと思います。イベントの内容につきましては、バスとタクシーの展示を基本として今後皆様と検討してまいりたいと考えております。来年度の「バスとタクシーのひろば」についての説明は以上でございます。

会長

13日についてのことは、今決めるのでしょうか。

事務局

実施することについてご協議いただければ。

会長

では、このことについてご質問はありますか。

委員

イベントに来られた方の3割強が市外からのようですが、この方々は開催の状況をどのように知っていたのでしょうか。

事務局

こちらのイベントは、バス会社にご協力いただいております。バス会社のホームページに開催情報を載せていただいております。3回目になりましたので、以前来られた方からの紹介で来られている方もいるようです。以前アンケートをした時に、どこから情報を得たかを聞いたところ、バス会社のホームページという回答が一番多かったです。

会長

それでは、「バスとタクシーのひろば」の開催について、実施するというところでよろしいですか。

委員

異議なし。

会長

それでは、実施するというご協力をぜひお願いしたいと思います。第一候補が5月13日の土曜日ということで、ブリヂストンさんの状況などによって、またご報告いただくということをお願いいたします。

では、協議事項「平成27年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、本日、新たに協議事項に追加いたしました、平成27年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価についてご説明いたします。

新たにお配りいたしました資料6をご覧ください。

現在、コミュニティタクシー、栄町ルートで使用している車両につきましては、平成27年1月28日の小平市地域公共交通会議において、生活交通改善事業計画をご協議いただき、国の地域公共交通確保維持改善事業の補助金を利用し、平成27年度の事業として車両を導入したものでございます。

この地域公共交通確保維持改善事業につきまして、地域公共交通確保維持改善事業実施要領およびガイドランス等に基づき、一次評価を平成29年1月末日までに実施したく、小平市地域公共交通会議にて、協議をお願いいたします。

まず、平成27年度に栄町ルートに福祉車両を導入した経緯について、説明いたします。

資料6の3枚目をご覧ください。小平市では、高齢者や子育て中の方の外出支援などを目的に、鉄道や路線バスを補完する、地域内のコンパクトな生活交通を確立するため、地域協働で検討を重ね、実証実験運行を実施した後、コミュニティタクシーの本格的な運行を開始しております。北西部地域（栄町ルート）では、電動リフト付き福祉車両「トヨタハイエース福祉タクシー仕様車 タイプⅡ」を使用し、平成23年から運行をしております。運行開始から4年が経過し、走行距離も10万キロを超えているため、車両を更新する必要性があり、更新する新たな運行車両につきましても、今まで同様、高齢者等に利用しやすい福祉車両を引き続き導入することといたしました。平成23年に導入しました車両につきましては、国の補助金を受けずに購入しておりましたので、今回の車両購入につきましては、補助金を利用し、購入することといたしました。

地域公共交通確保維持改善事業の申請をするためには、小平市地域公共交通会議で協議を経て、計画を作成する必要があるため、平成27年1月の小平市地域公共交通会議においてご協議いただき、全ての構成員の方々からの合意を得られたため、運行事業者の小平交通有限会社が補助金を申請し、福祉車両の導入に至りました。

補助金を利用し、導入した車両は、資料6の1枚目の写真の車両です。こちらには、車いすリフト、ワイドステップ板、握り棒などがついております。現在、この車両が栄町ルートを運行しております。

福祉車両導入に関する事業評価につきましては、2枚目をご覧ください。

- ① の補助対象事業者は、小平交通有限会社です。
- ② の事業概要ですが、小平市北西部地域（栄町ルート）コミュニティタクシーの運行車両の更新に伴い、福祉車両を導入します。
- ③ 前回の事業評価結果の反映状況ですが、平成25年度に小平市北東部地域（大沼ルート）コミュニティタクシーの運行車両に補助金を利用し、福祉車両を導入し、高齢者を中心に多くの方に利用されましたので、栄町ルートにも補助金を利用し、運行車両を導入することといたしました。
- ④ 事業実施の適切性ですが、計画通り、福祉車両を1台導入しておりますので、適切に実施されたAと評価いたします。
- ⑤ 目標・効果達成状況ですが、平成28年3月に、栄町ルートの運行車両の更新に伴い、福祉車両を導入しました。平成28年4月1日から12月31日までの間に18,994人の方にご利用いただきました。また、62人の方が電動リフトを利用されました。前年度よりどちらの

利用者数も伸びており、利用者のより一層の安全性及び利便性向上につながりましたので、事業が計画に位置づけられた目標を達成したAと評価いたします。

⑥ 事業の今後の改善点ですが、今後、コミュニティタクシーを導入する際は、福祉車両を導入するようにつとめることといたします。

以上が、平成 27 年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価でございます。

会長

ただ今の説明について、何かご意見、ご質問はございますか。よろしければ、この内容で事業評価を確定し、提出するということですね。

事務局

はい、そうです。

会長

では、こういう形でよろしいでしょうか。

委員

異議なし。

会長

では、このような形で事業評価を確定いたしまして、提出させていただきたいと思います。それでは、議題として挙げられているものは以上となりますが、その他で何かございますか。

事務局

はい。1 点ご報告させていただきます。

「小平市と国分寺市の広域連携の検討について」でございます。

こちらにつきましては、前回の地域公共交通会議でもご報告させていただきましたが、小平市と国分寺市で、「コミュニティバス等の効率的かつ持続可能な運営についての検討」を、平成 27 年 9 月より開始いたしました。

主な内容といたしましては、国分寺市と小平市の市境の交通につきまして、交通不便地域の解消や市域を越えた高齢者などの移動需要への対応を目的として、既存のルートについての延伸等の可能性について話し合いを行うものでございます。

今年度につきましては国分寺市が運行していますコミュニティバスのうち、小平市境を運行している 2 路線を対象に検討を進めてまいりました。小平市内への延伸につきましては、道路幅員等の課題も多くあることから、今後はそういった課題の解決策の検討など可能性を探りながら、延伸が実現できるかどうかの判断を含めまして、両市で検討を進めていく予定でございます。

今後、仮に具体的なルート案の設定等ができた場合など、進捗の状況によりましては、各関係機関の皆様と事前の調整が必要となってまいります。

また、場合によりましては、国分寺市と小平市と共同の地域公共交通会議の開催ということも想定されますので、検討状況につきましては、随時ご報告させていただきますのでよろしく願いいたします。以上でございます。

会長

何かご質問、あるいはご意見などございますか。

今の段階ではここをどうするというような具体的な変更ではないということですか。

事務局

路線が国分寺駅から北に延びております本多ルートがございまして、これがちょうど小平市の上水南町の市境まで来ております。公共交通マップがありますので見ていただけますか。Hの少し上に国分寺駅がありまして、ここから茶色で延びておりますぶんバス本多ルートというのがご

ざいます。これがちょうど市境で、少し行くと小平市の上水南町になります。

もう一つが、国分寺市の北町ルートと言いまして、Dの5辺りに北町パンダ公園というのがあるのですが、ここが小平市の上水新町2丁目のすぐ近くに来ておりますので、この二つのルートにつきまして、延伸ができるかどうかというところを両市で検討しております。先程もご説明いたしましたが、2市が関係しますと、それぞれの公共交通の考え方ですとか、運賃も違ったりしまして、課題がかなり多いということで、今年度につきましては、そういった課題を出してみようと課題出しをしたのですが、それについて、来年度以降解決策を探りながら、場合によっては、無理かなという判断も含めまして検討していきたいと考えております。

会長

国分寺市の地域公共交通会議での報告の仕方とかはどうですか。

事務局

議事録がホームページに載っておりますので、見てみましたが、国分寺市は12月の末に新しく万葉・けやきルートを作りまして、その議題でかなり時間をさいてまして、こういった検討については議題には載っていませんでした。小平の場合は前回、この時期に開催した地域公共交通会議でもご報告しておりますので、その続きということで進捗状況について説明させていただきました。

会長

その辺はお互いの地域公共交通会議でも少し丁寧に説明していかないと。実は、東大和市の経験で、あまり細かいことは言うとは差支えがあるかもしれませんが、所沢市のコミュニティバスが少し近くまで来ている関係で、それを延長という案があったのですが、その辺の話をするにあたって、いきなり話がきたような感じになると、やはり地域公共交通会議のメンバーの中からも何で急にそんな話があるのかとか、片方が先に話が結構通っていたりすると、それに対して何かといったようなそういうような声も出ますので、進捗を丁寧にやっていただければと思います。

事務局

わかりました。

会長

それでは、今の広域連携の検討について、他に何かありますか。

委員

私も国分寺市の方は会議に出させていただいているのですが、先程の話にもあったように、議題としてはまったく触れておりません。今後、議題として出てくるかもしれませんが。

会長

なるべく両方の会議の同時並行的な進捗で、お互いに考えていただいた方が余計な摩擦がなく、すむと思いますので、その辺は御面倒いただければと思います。

事務局

わかりました。

会長

そういったことでよろしく願いいたします。
それでは、他に何かございますか。

委員

それでは、先程の資料3のところ、「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」につ

いてご説明いただいたんですけど、実際のアンケート結果とか、これからルート等決められていく中で、第2回の会議の中で既存の路線バスと競合しないような調整もしていただくというのですが、今後のスケジュール感として具体的に検討会で考えられているルート案というのは、この会議でいつ頃付議されるのか、それがわかれば教えていただきたいのですが。

事務局

まだルート案が出ていない段階なのですが、2月に参加団体の方からルート案を出していただいて、それから詰めていくのですが、以前の小平南東部地域コミュニティタクシーを考える会の時には、ルート案を出していただいてから5～6回位、考える会の皆さんでルートの検討をし、その後、地域公共交通会議にかけておりますので、こちらの南西部地域に関しましても、2月から毎月1回会議を開催するのですが、そこから5～6か月後に早ければ地域公共交通会議で協議をお願いするようになるかと思えます。

会長

よろしいですか。他にはいかがでしょうか。

それでは特になければ、これで全ての議題は終了となります。

熱心なご議論、ありがとうございました。

以上で、平成28年度 第1回小平市地域公共交通会議を閉会します。